



よかったね!

# クローズアップ この人 Vol.6

## 献腎移植を受けられた 木村 亜子さんにうかがいました。

こんなに元気になりました!



豊田共立クリニックで初めての献腎移植を受けられた木村亜子さんです。移植を受け自分がこんなに元気になったことで、世の中に少しでも貢献していきたいという思いが強くなったそうです。こころよく取材をうけていただきました。(聞き手・五十嵐ベティ)



透析歴を  
お聞かせ下さい

名古屋の西の弥富で生まれました。中学の時に母親から生体腎移植を受けましたが、3年しかもちませんでした。入退院の繰り返しで、しんどかったです。そのあとは海部共立クリニックで透析を受け、結婚して豊田にきました。地元の病院で透析を受けていましたが、あまり検査もできなくて不安がありましたから、そのことを勢納先生に相談しました。先生は、「じゃあ豊田に共立クリニックを作るから、待ってなさい」と言って下さり、約束通り作っていただいて(笑)、開院以来ずっと4年間透析をしていました。快適な良い透析をしていただき、ずっとこの生活が続くものだと思っていました。透析はトータルで21年間受けていましたね。



そんな中、献腎移植決定の知らせがきたのですね

日本臓器移植ネットワークに登録してありました。受けるまでに普通は14年が平均ですが、私は12年目でした。豊田で透析を受けるようになって、日常生活が本当に楽になっていました。透析液がとてもきれいな豊田共立ですから、私のエンドトキシン過敏症(血圧の激しい降下、足がつったりする)もなく、透析自体には何の問題もありませんでした。

去年の2月の初めに突然連絡があり、その年の3月2日に社会保険中京病院で手術をうけました。移植のための待機時間が1カ月もあり、心の葛藤もあり期待と不安で不整脈の発作がおさまりませんでした。ドナー様のご家族のことに思いを巡らしてありました。



働き始めてくれた腎臓に感謝されたとか。

献腎移植の場合は、移植した腎臓が働きだすのを待つ間、数回透析をします。その時が一番大変でした。少し身体を動かすだけでも激痛が走り、術後のひどい体調のまま、「本当にこの腎臓が働き出していただけるのだろうか?」と不安な思いのまま受ける4時間は大変辛かったです。徐々に膀胱に繋がれたカテーテルの先から黄色い尿が増え始めると、それから目が離せなくなり感激で一晩中見つめていました。そして先生から「クリアチニンが下がってきたよ」と言っていた時は本当に嬉しかったです。2カ月後に退院しました。



食事制限、水分制限もない忘れていた普通の日常…

今は腎機能が良く貧血も全くありません。実は、今回移植して最近体調が良くなってきて判ったことですが「私は今まですごく大変だったんだということ、子どもの頃から病気でずっと透析をしてきたので、健康な人がこんなに身体が楽だなんて初めて知りました(笑)。だからこそいろんな人に言いたいのですが、社会的にも病気に対して理解を深めていただき、透析患者を大事にしてねぎらってほしいです。12月に入ってだいぶ落ち着き、今は安定しています。おかげさまであきらめていた頭痛、不眠、不整脈、皮膚の色素沈着などいろいろな悩みが解決されて、食事制限、水分制限もない普通の一週間を過ごさせていただいております。普通であること、当たり前であるということはなんと素晴らしいことでしょう。移植を受けたことで自分がこんなにも元気になる、世の中に少しでも貢献していきたいという思いを強くしました。



ご家族のことをお聞かせ下さい

夫とのなれそめは、浜田省吾のコンサートです。21歳で出会い4年後に結婚しました。すでに透析をしていましたが、日常生活はできるのだからと特に大変だとは思っていなかったようですね。今日もこれからスターダストレビューのコンサートに、夫と名古屋までかけつけます。他には箱入り息子(?)のウサギの『レビ』ちゃんがいいます。



支えてくださった方たち、いただいた『腎臓さま』に感謝

私のような長期透析患者がこのような大きな手術を受けることができたのは豊田共立クリニックの透析の質の高さと、体調管理をしっかりしていただけたからです。病院の主治医の先生、当クリニックの山田院長他スタッフの皆様の支えなくして今の自分はありませんでした。まだ不安も多いのですがこれからも一日でも長く、いただいた『腎臓さま』にすこやかに居続けていただけるように努力して自己管理をしていきたいと思ひます。

移植後、食事のたびに、いただいた『腎臓さま』への感謝の祈りをささげてから、おいしく食事をいただきます。ドナーの方への思いをはせながら、私は今日も元気に生きていきます。